



かるかる

2013年 **7** 月 vol.214

市制50周年記念事業 黒崎ひびしんホール開館1周年記念公演

MALTA Jazz Live in 黒崎

TV等でお馴染み、あのサックスの「MALTA」。ジャズ界の第一線で活躍し、オリジナリティ溢れるプレイで輝きを放ち続けています。自然と身体がスウィングし、聴きやすく滑らかなトーンでプレイするMALTAのSAXは、まさに歌うSAX!そしてマリーンのパワフル&伸びやかなヴォーカルで心躍るひとときをお過ごしください。

感動! 夢!
そして心に癒しを!

出演

MALTA (サックス)



特別ゲスト
マリーン (ヴォーカル)



三木成能 (ピアノ)

ジーン重村 (ドラムス)

池田達也 (ベース)

- プログラム
- 第1部 北九州市立木屋瀬中学校
吹奏楽部 オンステージ
出演:北九州市立木屋瀬中学校吹奏楽部
with MALTA
 - 第2部 MALTAジャズライブ
出演:MALTA JAZZ QUARTET
Special Guest マリーン

会場: 黒崎ひびしんホール 大ホール

※公演中止の場合を除き、チケットの払い戻し、交換はできません。

チケット取扱・お問合せ

黒崎ひびしんホール ☎093-621-4566 (9時~22時)

<http://www.kurosaki-bunka.jp>

2013年
7月15日 (祝・月)

開場14:30 開演15:00

全席指定...3,000円

高校生以下...1,500円

友の会Fantasia会員...2,500円

主催: 株式会社黒崎コミュニティサービス 共催: 北九州市・北九州市教育委員会

北九州芸術劇場



●住所/小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州6F ●電話/093-562-2655 ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩3分 バス:「室町・リバーウォーク」徒歩1分 ●開館時間/公演によって異なります。

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	かがやけ! 第11回えがおの輪ワンコインコンサート	6(土)	13:00	¥500	百瀬ミュージックボランティアグループ 093-962-7977
	子ども劇場7月低学年部・高学年部合同例会 オペラ「ねこのくにのおきやくさま」 (オペラシアターこんにゃく座)	14(日)	15:00 18:30	会費 ※子ども劇場会員でない方は お問合わせください。	北九州子ども劇場 093-884-3834
中劇場	倉橋富子フラメンコスタジオ公演	7(日)	17:00	¥3,000	倉橋富子フラメンコスタジオ プラスエラ 092-573-8321
	北九州芸術劇場プロデュース/市民参加企画 合唱物語「わたしの青い鳥2013」	14(日)	15:00	大人 ¥1,500 子ども(3歳~中学生) ¥1,000	北九州芸術劇場 093-562-2655
	K-POPコンテスト2013 九州大会	20(土)	15:00	無料	駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院 06-6292-8760
	グローバルビューティコンGRESS	22(月)	13:30	¥1,000	タマリス(株)北九州販売 093-533-3791
小劇場	島田久三江ヴァイオリンスクール発表会	7(日)	14:30	無料	島田ヴァイオリンスクール 093-654-2111
	子ども劇場7月乳幼児部例会「ぐるぐる」(CAN青芸)	8(月)	11:10	会費 ※子ども劇場会員でない方は お問合わせ下さい。	北九州子ども劇場 093-884-3834
	スティックマン "Stick Man" Theater salz+pfeffer	20(土)	13:00	大人 ¥2,500 子ども(18歳未満) ¥1,000	北九州芸術劇場 093-562-2655
		21(日)	13:00		
	ウィンド〜風〜 "Wind" Theatre Madam Bach	20(土)	15:00	大人 ¥2,500 子ども(18歳未満) ¥1,000	北九州芸術劇場 093-562-2655
21(日)		11:00 15:00			
平成25年度 北九州放送文化サロン・ジュピター 「納涼コンサート」	31(水)	15:00	¥500	北九州放送文化サロン・ジュピター 090-1178-8959(藤本)	

北九州芸術劇場

市民ギャラリー



●住所/小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州5F ●電話/093-562-2520
●開館時間/10:00~19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩3分 ●年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
SC油彩展 絵画	3(水)~9(火)	無料	SC油彩グループ 080-6400-7257
グループYわい 水彩画展 絵画	10(水)~16(火) ※10:00~18:00	無料	グループYわい 093-551-6351
若草会草木染展 絵画	17(水)~23(火)	無料	若草会 093-631-8860
花ヒーリング写真展 写真	24(水)~30(火)	無料	出版宇宙クラブ 093-231-7701
こどもたちと創る北九州の未来~ひまわりを咲かせよう~絵画展 絵画	7/31(水)~8/6(火)	無料	ひまわり実行委員会 093-622-8687

北州市立響ホール



●住所/八幡東区平野1-1-1 ●電話/093-662-4010 ●駐車場/240台(有料) ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩15分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩10分、「国際文化交流センター」徒歩2分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
響ホール20thシリーズ 石田純一 & 熊本マリ「作曲家のラブレター」 ショパン:ノクターン第2番変ホ長調作品9-2 ほか	14(日)	15:00	一般 ¥3,500 U-25 ¥2,000 ※1987年以降生まれ全対象 (当日各¥500増) ※全席指定	(公財)北九州芸術文化振興財団 音楽事業課 093-663-6661
ソプラノ田浦彩夏・西南女学院高等学校音楽部OG会・母の会「ドルチェ」 ・北九州メモリアル女声合唱団 ジョイントコンサート 日本抒情歌・故郷の四季唱歌メドレー ほか	15(月・祝)	14:00	無料 ※要整理券	西南女学院高等学校音楽部OG会 093-642-5780(完戸)



北九州市立響ホール

●住所/八幡東区平野1-1-1 ●電話/093-662-4010 ●駐車場/240台(有料) ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩15分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩10分、「国際村交流センター」徒歩2分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
AMA~ピアノと歌と管楽器のコンクール~ ベートーヴェン:悲愴ソナタ終楽章等	20(土)	未定	無料	AMA 093-691-9568 (田村)
響ホール室内合奏団 第22回定期演奏会 モーツァルト:交響曲第25番ト短調KV.183 ほか	28(日)	15:00	指定 ¥3,000 一般 ¥2,500 学生 ¥1,000 ペア ¥4,000 (当日各¥500増) (ペア¥1000増)	響ホール室内合奏団 090-9596-6483 (武富)

関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)

●住所/門司区西海岸1-3-3 ●電話/093-331-6700 ●休館日/年5回
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間/9:00~17:00

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
筑前琵琶「平家物語」演奏会	7(日)	11:00 13:00	無料	関門海峡ミュージアム (海峡ドラマシップ) 093-331-6700

旧門司税関

●住所/門司区東港町1-24 ●電話/093-321-4151 ●休館日/なし
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩3分 ●開館時間/9:00~17:00

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
2階	小倉南フォトフレンズ会員展	5(金)~11(木) ※5(金)は12:00から、 11(木)は13:00まで	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093-321-4151
1階	牛乳パック再生紙油彩展	7/29(月)~8/4(日) ※8/4(日)は15:30まで	無料	

門司港レトロ展望室

●住所/門司区東港町1-32 ●電話/093-321-4151 ●休館日/7/1(月)
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間/10:00~22:00(カフェは21:00まで)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
天空ジャズ(近藤タケユキデュオ)	6(土)	18:30	門司港レトロ展望室入館料金必要 大人 ¥300 小人 ¥150	B&A 門司港 093-321-4151

門司市民会館

●住所/門司区老松町3-2 ●電話/093-321-2907 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩13分 バス:「関門トンネル車道口」徒歩2分、「レトロ東本町1丁目」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	丘伸子カラオケ教室発表会 カラオケ発表会	7(日)	10:00	¥1,000	丘伸子歌謡教室
	門司市民会館まつり 第2回門司カラオケフェスタ カラオケ発表会	28(日)	9:30	無料	門司カラオケフェスタ実行委員会 093-321-2907

アルモニーサンク 北九州ソレイユホール

(旧九州厚生年金会館)

●住所/小倉北区大手町12-3 ●電話/093-592-5405 ●休館日/年末年始・毎月1回(不定休) ●開演時間/公演によって異なります
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩30分、「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホールムーブ前」徒歩1分 ●駐車場/80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	HIROMI GO DISCOTHEQUE TOUR 2013 "LET'S GROOVE"	3(水)	18:30	¥7,000 全席指定	株式会社企画 092-285-4864
	北九州市民文化大学 文化講演会 講師:「戸田 奈津子」氏	13(土)	13:30	関係者 (随時募集)	北九州市民文化大学 093-522-5008
	CPC The 30th ANNIVERSARY	14(日)	13:00	¥1,500 全席自由	株式会社シーシー 0930-25-6144
	北九州童謡・唱歌かたりべの会 第24回定期演奏会	15(月・祝)	13:30	一般 ¥1,000 高校生以下 ¥500 全席自由	北九州童謡・唱歌かたりべの会 093-652-6241(天川)
	第26回 北九州無法まつり ゲスト:西尾 夕紀	21(日)	10:30	¥2,000 全席自由	北九州選抜歌謡祭実行委員会 093-671-7636
	宝塚歌劇「宙組」北九州公演 「うたかたの恋」「Amour de 99!!-99年の愛」	26(金)	14:00 18:00	S席 ¥7,000 A席 ¥6,000	西日本イベントプロモーション 092-716-8468
	平成25年度 北九州吹奏楽コンクール	27(土) 28(日)	10:00	一般自由席 ¥1,300 学生自由席 ¥1,000 (当日各¥200増)	北九州吹奏楽連盟 093-882-7701

ジャンルごとに色分けして表記しています。

 演劇・舞踊  音楽  美術・展示  etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

北九州市漫画ミュージアム



●住所/小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5階6階) ●開館時間/11:00~19:00(7月20日~9月1日は20:00まで)入館は閉館30分前まで
●電話/093-512-5077 ●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩2分 ●休館日/火曜日(休日の場合は翌日)、年末年始、館内整理日、夏休み等は無し

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
日本マンガ学会 第13回大会(北九州大会) マンガ学会会員の研究発表やシンポジウム「マンガとアジア」開催	6(土)~7(日)	一般 ¥400 中学生 ¥200 小学生 ¥100 小学生未満無料 ※学会会員は無料	北九州市漫画ミュージアム 093-512-5077
北条司&コミックゼノン展 北条司と月刊「コミックゼノン」の連載作家たちの展覧会	7/20(土)~9/23(月・祝)	一般 ¥600 中学生 ¥300 小学生 ¥150 小学生未満無料	

北九州市立小倉城庭園



●住所/小倉北区城内1-2 ●休館日/なし ●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩約10分、「西小倉駅」徒歩約7分
●開館時間/9:00~18:00(11月~3月は17:00まで)受付は閉館30分前迄 ●電話/093-582-2747

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	第17回筆心会書作展 筆心会会員による書道作品展。	6/29(土)~7/7(日)	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093-582-2747
和室・立礼席	七夕茶会 恒例の夏の茶会です。	7(日)	¥1,500 (薄茶二席・入館料込)	
企画展示室	祇園祭と八坂神社 八坂神社の歴史とその意義を祇園祭の観点から紹介。	7/13(土)~9/16(月・祝)	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	

北九州市立こども文化会館(併設到津市民センター)



●住所/小倉北区下道津4-3-2 ●電話/093-592-4152 ●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始
●アクセス/バス:「小倉北特別支援学校」徒歩1分・「金田陸橋西」徒歩5分 ●駐車場/20台 ●開館時間/9:00~17:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
児童劇場	劇団「大樹」たなばた演劇公演 演目:「フラ星からやってきた愉快的仲間たち」	7(日)	13:15	無料 幼児以上(未就学児は保護者同伴)	こども文化会館 093-592-4152
	「てあとる☆もんど」&「劇団 笑夢優花」合同演劇公演 演目:珍 桃太郎伝説(九州編)~モモ! いろいろ苦労ば、せんとっ!~	28(日)	14:00	無料 幼児以上(未就学児は保護者同伴)	

北九州市立視聴覚センター



●住所/小倉北区城内4-1 ●電話/093-561-3131 ●休館日/毎週月曜日(月曜祝日、振替休日の場合は開館し翌日休館)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山公園」徒歩1分、「北九州市役所」徒歩5分 ●開館時間/10:00~18:00

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
子ども映画会 「七夕ものがたり」・トムとジェリー「トムさんと悪友」他2本	14(日)	14:00	無料 (先着 50名)	北九州市立視聴覚センター 093-561-3131
週末映画会(洋画「ジェーン・エア」)	20(土)	14:00	無料 (先着 50名)	
週末映画会(邦画「ぼくたちと駐在さんの700日戦争」)	27(土)	14:00	無料 (先着 50名)	
クラシック・レコード・コンサート ハイドン作曲:交響曲第104番「ロンドン」ほか。楽曲解説あり。	28(日)	14:00	無料 (先着 50名)	

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ



●住所/小倉北区大手町11-4 ●電話/093-583-3939 ●休館日/所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 ●駐車場/有り(有料) ●開館時間/9:30~21:30

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	ムーブフェスタ2013 市民企画事業 公募による約100の市民団体が、歌、日本舞踊、ダンス、大正琴、映画などを開催。	6(土)~ 27(土)	お問合わせ ください	お問合わせください	ムーブフェスタ2013実行委員会・ 北九州市立男女共同参画センタームーブ 093-583-3939

北九州市立美術館分館



●住所/小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F ●電話/093-562-3215 ●開館時間/10:00~20:00(入館は19:30まで)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 バス:「室町・リバーウォーク前」下車 ●休館日/会期中無し

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
生誕130年 憧れの欧米への旅 竹久夢二展 日本画及び油絵140点	7/13(土)~9/1(日)	一般 ¥1,000 高大生 ¥600 小中生 ¥400	北九州市立美術館分館 093-562-3215

北九州市立松本清張記念館



●住所/小倉北区城内2-3 ●電話/093-582-2761 ●開館時間/9:30~18:00(入館受付は17:30まで)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩5分 バス:「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 ●休館日/なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	清張サロン「松本清張作品のなかの女性たち」 【講師】久保田裕子(福岡教育大学教授)	12(金) 14:00~16:00	無料 ※要申込 (常設展示室を閲覧の場合は 別途入場料が必要)	松本清張記念館友の会・ 松本清張記念館 093-582-2761



ジャンルごとに色分けして表記しています。



演劇・舞踊



音楽



美術・展示



etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

小倉井筒屋

●住所/小倉北区船場町1-1 ●電話/093-522-3111(代) ●定休日/不定
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩7分 ●展示時間/10:00~19:00※各最終日は16:00に閉場いたします。

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
大画廊	日本画・洋画版画展	3(水)~9(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093-522-2521
	「光・風・大地からの恩敬」阿部直昭油絵作品展 直方市在住の阿部氏が、自然からの恩敬を感じた場面を作品にしました。	10(水)~16(火)	無料	
	穴吹哲二郎 油絵展 関門風景、外国風景を中心とした回顧作品、および新作の展示。	17(水)~23(火)	無料	
	創作活動50周年記念 田中伸幸創作人形展 創作活動50周年を記念した素焼彩色人形の作品展。	24(水)~30(火)	無料	
	京・祇園 西河 竹工芸展 竹のインテリア、茶の湯の花簞など小物を中心とした作品展。	7/31(水)~8/6(火)	無料	
小画廊	劉耀宗 夢幻の桂林山水画展 劉氏の故郷である桂林。その風景を美しく描いた山水画の作品展。	3(水)~9(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093-522-2521
	<熔壊ガラス二代目>江口智子作品展 師である江副行昭氏より溶壊ガラスを継承し10年。自身の想いを込めた作品を展示。	10(水)~16(火)	無料	
	佐藤勝彦の世界展 ダイナミックで生命感あふれる墨彩画を中心に陶芸など約100点を展示。	17(水)~23(火)	無料	
	~やまのこえ かぜのいろ~ 久木朋子木版画展 「自然」をテーマに、暖色を巧みに調和させた作品を展示。	24(水)~30(火)	無料	
	歴史と伝統の流れを今日に 現代スペイン絵画展 芸術と文化の都バルセロナで活躍する人気作家の作品を展示。	7/31(水)~8/6(火)	無料	

小倉城

●住所/小倉北区内2-1 ●開館時間/4月~10月 9:00~18:00 11月~3月 9:00~17:00 ※入館は30分前まで
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩20分、「西小倉駅」徒歩10分 都市高速:大手町ランプより車で5分 ●電話/093-561-1210

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1階歴史ゾーン	小倉城 所蔵品展 小倉城が所蔵する品々を約50点展示	~9/1(日)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093-561-1210
4階市民の大広間	北九州遺跡パネル展 城下町小倉に点在する江戸時代の土木遺産をパネルにて紹介 20枚	7/2(火)~9/30(月)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	
天守閣前広場	小倉城冒険王2013 お化け屋敷、夜市、ライブやフリーマーケット等開催。	7/20(土)~8/18(日) ※期間中の17日間	無料 ※有料もあり	

水環境館

●住所/小倉北区船場町1-2 ●電話/093-551-3011 ●開館時間/10:00~20:00 ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山橋」徒歩1分、「魚町」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的ホール	水曜コンサート「シャンソンとピアノの奏べ」 歌:酒井京子 ピアノ:湯田美津子	3(水)	14:00	無料	水環境館 093-551-3011
	水曜コンサート「バイオリンとピアノの奏べ」 バイオリン:加来洋子 ピアノ:湯田美津子	17(水)	14:00	無料	

小倉南生涯学習センター

●住所/小倉南区若園5-1-5 ●電話/093-931-1286 ●休館日/毎週月曜(月曜祝日、振替休日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始
●アクセス/バス:「小倉南区役所」徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分 モノレール:「北方駅」徒歩12分 ●開館時間/9:00~22:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	カラオケ大会	7(日)	9:30	無料	西日本カラオケ連合事務局 093-962-1298(須藤)
	第56回西日本吟詠北九州地区大会	14(日)	10:00	無料	西日本新聞イベントサービス内 西日本吟詠大会事務局 092-711-5491
	平成25年度ビクター吟友会 吟剣詩舞道九州地区コンクール	15(月・祝)	9:30	無料	ビクター吟友会九州地区本部 093-282-5634(高尾)
展示コーナー	小倉南美術協会写真部会員会友展 約34点	12(金)~18(木) 9:00~17:00 ※12(金)は12:00から、 18(木)は15:00まで		無料	小倉南美術協会写真部 093-962-4048(土岐)

平尾台自然の郷

●住所/小倉南区平尾台1-1-1 ●休園日/毎週火曜日、※ただし、休日の場合は開園し翌日が休園に。 ●開園時間/9:00~17:00(夏休み期間中祝祭日は18時まで)
●アクセス/車:「小倉南IC」約20分 バス:「西鉄バス中谷営業所」よりタクシー or おでかけ交通で約20分 JR:「石原町駅」よりタクシー or おでかけ交通で約15分 ●電話/093-452-2715

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
高原音楽堂	第20回平尾台ピクニックコンサート	28(日)	17:00	大人 ¥2,500 小・中・高生 ¥1,500 親子 ¥3,500 (当日¥500増)	小倉南区役所コミュニティ支援課 093-951-4111

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

若松市民会館

●住所/若松区本町3-13-1 ●電話/093-771-8131 ●駐車場/110台(共用) ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「若松駅」徒歩1分 バス:「大橋通り」「若松駅」「若松市民会館前」徒歩2分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	はなみずき会 「歌のつどい」 声楽発表会	28(日)	14:00	無料	はなみずき会 093-771-2092

北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)

●住所/八幡東区東田2-2-11 ●電話/093-663-5411 ●休館日/毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌日、7/22~8/26は無休、年末年始) ●駐車場/市営駐車場(いのちのたび博物館横) 大型30台、普通300台(有料)
●アクセス/JR:「スウェーワールド」徒歩5分 バス:「いのちのたび博物館」徒歩3分 ●開館時間/平日9:00~19:00※土日祝日7/22~8/26の月曜9:00~17:00まで、企画展示室への入場は開場時間の30分前まで

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示場	船のなるほど展 船のしくみや技術を楽しく紹介します。	7月13日(土)~ 9月23日(月・祝)		一般 ¥500 小~高校生 ¥100	北九州市、北九州イノベーションギャラリー 093-663-5411

北九州市立児童文化科学館

●住所/八幡東区桃園3-1-5 ●電話/093-671-4566 ●開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
●アクセス/バス:「市立児童文化科学館前」徒歩5分 ●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
会議室	サイエンスショー 「金属に関する科学実験」	7(日)	14:30	無料	児童文化科学館 093-671-4566
プラネタリウム 屋上	星の観望の夕べ プラネタリウム観覧後、夏の夜空を望遠鏡で観察します。	27(土)	19:30	大人 ¥100 中高生 ¥70 小学生 ¥50 ※中学生以下は保護者同伴 13(土)から電話受付開始	
大集会場 プラネタリウム	市民天文講座 「彗星・小惑星・隕石」について 講師:福岡教育大学名誉教授 平井正則氏	28(日)	10:00	無料 ※定員 60名 高校生以上	

現代美術センターCCA北九州

●住所/八幡東区尾倉2-6-1-3F ●電話/093-663-1615 ●休館日/展覧会によります。
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩8分 ●開館時間/10:00~17:00(但し、展覧会開催時のみ)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	ビデオ・スクリーニング 詳細はお問合せ下さい。	6/15(土)~7/19(金) (土・日休み)		無料	現代美術センターCCA北九州 093-663-1615

八幡市民会館

●住所/八幡東区尾倉2-6-5 ●電話/093-671-6061 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩7分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩5分 ●駐車場/110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北九州無法松まつり 歌謡フェスティバル(予選)	7(日)	10:00	無料	北九州選抜歌謡祭 093-671-7636(カラオケ大将)
美術展示室	きものピフォーアフター展&きものワークショップ 古いきものや帯をリフォームしたものを展示 着物 約30点	11(木)~13(土) 10:00~18:00 ※13(土)は17:00まで		無料	NPO法人きものを着る習慣を つくる協議会八幡支部 093-631-3391(田中)

北九州市立子どもの館

●住所/八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ7階 ●休館日/7/3(水)、17(水)
●アクセス/JR:「黒崎駅」徒歩1分 バス:「黒崎バスセンター」徒歩1分 ●開館時間/10:00~19:00 ●電話/093-642-5555

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
子ども ホール	七夕おたのしみ会 短冊に願いを書き、笹の葉に飾ります。その他アニメや歌など。	6(土) 13:00~14:00		無料	北九州市立子どもの館 093-642-5555
プレイ ルーム	たのしく字を書こう!書道に挑戦! 筆を使う感覚を楽しみながら書道体験できるイベント。	7(日) 13:00~15:00		無料	北九州市立子どもの館 093-642-5555

北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

●住所/八幡西区木屋瀬3-16-26 ●開館時間/9:00~17:30 ●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)、年末年始 ●電話/093-619-1149
●アクセス/車:九州自動車道 八幡IC、北九州市高遠 馬場山ランプから車で約10分 JR:「筑前植木駅」徒歩約15分 筑豊電鉄:「木屋瀬駅」徒歩約5分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
こやのせ座	岩村ピアノ教室発表会	27(土)	14:00	無料	岩村 尚子 093-691-3768
	ピアノ発表会	28(日)	15:00	無料	田中 千里 090-7456-7127

黒崎井筒屋

●住所/八幡西区黒崎1-1-1 ●電話/093-643-5111(代) ●定休日/不定
●アクセス/JR:「黒崎駅」徒歩1分 ●展示時間/10:00~19:00※各最終日は17:00に閉場いたします。

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	和田木乃実 創作屏風展 帯、着物を使用した屏風の展示。お手持ちの和服や掛軸へ。リメイクも承ります。	2(火)~7(日)		無料	093-643-5268
	和の布 衣料と雑貨 二人展	9(火)~14(日)		無料	
	萩焼 守繁徹 還暦「舞」展 茶碗、水差し、花入、壺など茶陶を中心に約60点を展示。	16(火)~21(日)		無料	

黒崎井筒屋



●住所／八幡西区黒崎1-1-1 ●電話／093-643-5111(代) ●定休日／不定
●アクセス／JR:「黒崎駅」徒歩1分 ●展示時間／10:00～19:00※各最終日は17:00に閉場いたします。

イベント	期間	入場料	問合せ先
絵画と陶芸展 コレクター所属の油彩画、リトグラフ、陶磁器を展示。	23(火)～28(日)	無料	093-643-5268

黒崎びびしんホール(北九州市立黒崎文化ホール)



●住所／八幡西区岸の浦2-1-1 ●電話／093-621-4566 ●休館日／年末年始 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「黒崎駅」徒歩5分 京豊電鉄:「黒崎駅」徒歩8分 西鉄・市営バス:「熊手四つ角」バス降りてすぐ 北九州都市高速:黒崎ICから5分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	ピアノのつどい	6(土)	13:30	無料	093-645-0333(川村)
	黒崎びびしんホール開館1周年記念公演 「MALTA Jazz Live in 黒崎」	15(月・祝)	15:00	一般指定席 ¥3,000 高校生以下 ¥1,500 友の会会員 ¥2,500	黒崎びびしんホール 093-621-4566
	PTC小さな発表会	20(土)	11:00	無料	榊ヤマハミュージック リテイリング 小倉店 093-531-4342
	黒崎祇園(子供)太鼓競演会	22(月)	14:00	無料	黒崎祇園山笠保存会 093-631-0001
	カワイ音楽発表会	26(金) 27(土) 28(日)	10:00	無料	河合楽器 093-521-5453
中ホール	聖書と音楽の出会い北九州 賛沢に耳を澄ませつつ聖書について考えるひと時を	6(土)	13:30	無料	一般財団法人 日本聖書協会 03-3567-1988
	JOYFUL CONSERT	7(日)	14:00	無料	093-223-2341(藤崎)
	ミュージカル 本日は晴天なり	20(土)	14:00 18:00	¥3,000	九州アクターズクラブ 090-1873-6808(石丸)
	旅する絵本カーニバル	22(月)～ 26(金)	10:00	無料	北九州市教育委員会 093-582-2385
	ひまわりコンサート ～親子で楽しむ夏の音楽会♪～	28(日)	14:00	無料 ※要整理券	北九州ファミリープラスひまわり 093-692-1394

北九州市立美術館本館



●住所／戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 ●電話／093-882-7777 ●休館日／月曜日(祝日・休日の場合は開館し翌日休館)、年末年始(12/29～1/3)
●アクセス／バス:「美術館口」徒歩10分、「七条」美術館口より無料シャトルバス運行 ●開館時間／9:30～17:30(入場は17:00まで) ●駐車場／180台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
コレクション 展示室1～3	コレクション展Ⅱ ピカソ、マティス、ルオー～巨匠たちの版画(後期) 海外作家の版画を中心に約180点	7/2(火)～9/8(日)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50	北九州市立美術館 093-882-7777
企画展示室 1～2	重要文化財・重要美術品指定作品による浮世絵の美～平木コレクションの名品 絵画・版画等 約80点	7/13(土)～8/25(日)		一般 ¥1,000 高大生 ¥600 小中生 ¥400	北九州市立美術館 093-882-7777
B1F 講堂	(平木コレクション展開連イベント) 記念講演会 佐藤光信氏(平木浮世絵美術館 館長)による講演会	13(土)	14:00～ 15:00	無料	北九州市立美術館 093-882-7777
市民ギャラリー	第26回ナス会	2(火)～7(日)		無料	ナス会 093-653-0851(長尾)
	第30回北九州書展	9(火)～14(日)		無料	北九州書道協会 093-761-0049(和田)
	花ヒーリング写真展	17(水)～21(日)		無料	宇宙クラブ 093-231-7701(山口)
	原田 靖雄 個展(回顧展)	23(火)～28(日)		無料	原田 靖雄 093-282-6081(本人)
	高文連北九州地区高等学校書道展	7/30(火)～8/4(日)		無料	福岡県高文連書道部門北九州支部

戸畑市民会館(ウェルとばた内)



●住所／戸畑区汐井町1-6 ●電話／093-871-7200 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「戸畑駅」徒歩1分 バス:「戸畑駅」徒歩1分 ●休館日／年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	第37回 北九州少年少女合唱祭 歌の大好きな少年少女たちの合唱の祭典	7(日)	13:00	無料	(公財)北九州市芸術文化振興財団 093-562-3611
	表千家同門会 市民講座 「出光佐三の美術コレクション～仙厓や茶道具を中心に」	14(日)	9:30	無料	表千家同門会北九州支部 090-7156-8688(久保田)
	第55回 戸畑祇園ばやし研究競演会	21(日)	14:00	無料	戸畑祇園大山笠振興会 093-871-1501(村上)
	北九州市中学校文化連盟演劇部合同発表会	26(金)	9:20	無料	北九州市教育委員会 093-611-2708(善家)
	森田千翔会 カラオケ発表会	28(日)	10:00	無料	森田千翔会 093-791-5712(森田)

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

戸畑市民会館(ウェルとばた内)



●住所/戸畑区汐井町1-6 ●電話/093-871-7200 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「戸畑駅」徒歩1分 バス:「戸畑駅」徒歩1分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
中ホール	エレクトーンステージ・ジュニアエレクトーンフェスティバル	6(土)	11:30	無料	㈱ヤマハミュージックリテイリング 小倉店 093-962-3734(友塚)
	日本舞踊の会	14(日)	11:00	¥1,000	公益社団法人日本舞踊協会 093-551-1300(花柳)
	第25回 「未来ッ子集まれ」ピアノ発表会	15(月・祝)	13:00	無料	ピアノ演奏グループ「未来」 090-7924-3383(大野)
	音の夢ピアノコンクール・鳥栖ピアノステップ「北九州予選」	28(日)	13:30	無料	音の夢ピアノコンクール 0942-83-7062(鈴木)
交流プラザ	ウェルカムコンサート 出演:戸畑区在住のソプラノ歌手 野見山御園	11(木)	12:20	無料	ウェルとばた総合案内 093-871-7200

響ホール20thシリーズ
石田純一&熊本マリ
「作曲家のラブレター」



結び合う ちから 未来へ 響きあう

ショパン、リスト、シューマン、ブラームス——。大作曲家たちの想いが込められた名曲を、情熱のピアニスト・熊本マリが奏で、彼らが遺した「ラブレター」を、人気俳優・石田純一が朗読します。恋愛について熱く語り合うトークコーナーも見逃せません!



石田純一



熊本マリ

◇出演 石田純一(朗読)、熊本マリ(ピアノ)

◇プログラム
ショパン/ノクターン 第2番 変イ長調 作品9-2
プレリュード 第15番 変ニ長調 作品28-15「雨だれ」
リスト/愛の夢 第3番 変イ長調
ペトルカ/カのソネット 第104番
シューマン/献呈(リスト編)
ブラームス/ワルツ 第15番 イ長調 作品39-15
間奏曲 イ長調 作品118-2

※曲目曲順が変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

料金:全席指定 ※当日各500円増
一般 3,500円 U-25 2,000円

※U-25...この公演では、1987年以降生まれの方が全て対象となり、学生以外も含みます。入場時にチケットと一緒に年齢が確認できる証明書を必ず本人様にご提示下さい。
※未就学児入場不可。(託児サービス有・要問合せ)

お問合せ先 (公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 TEL.093-663-6661

7月 14(日)
15:00 (14:00開場)



チケット好評発売中!!

ストリッパー物語

過ぎ去った夢、上手くいかない人生。そんな日々を支えるささやかな光...様々な境遇を抱えた人々の生き様を、温かく豊かに描く筑豊出身のつかこうへいの代表作「ストリッパー物語」に、新進気鋭の若手演出家・三浦大輔が挑む!盛りを過ぎたストリッパー・明美に、殴られ蹴られながらも「ヒモ道」に生きがいを見出すシゲを、北九州出身のリリー・フランキーが演じます。



宣伝美術:永瀬祐一 撮影:西村淳

◇作 つかこうへい
◇構成・演出 三浦大輔
◇出演 リリー・フランキー、渡辺真起子、渡川清彦、安藤聖、古澤裕介、新田めぐみ、米村亮太郎、門脇慶、でんでん

8月 3(土) 4(日)
13:00 (12:30開場)
18:00 (17:30開場)

北九州芸術劇場 中劇場

お問合せ先 北九州芸術劇場 TEL.093-562-2655

料金:一般 5,500円
ユース 3,000円

※ユースは、24歳以下・身分証提示・枚数限定・劇場のみ取扱
※全席指定・当日各500円増
※未就学のお子様はご入場できません



チケット好評発売中!!

埋文センター&響ホール 音楽アウトリーチ事業 音の出る考古学 古代の音 おんがくかい

古代の人とはどんな音楽を聞いていたのでしょうか? 古代の楽器・土笛の演奏や、学芸員による解説など、親子で楽しめる演奏会です。実際に出土した弥生時代の土笛もご覧いただけます。

◇出演 山崎望山(尺八・土笛)、宮本直美(箏・三絃)

◇プログラム 君をのせて(天空の城ラピュタより)、荒城の月、祈り ほか

お問合せ先 (公財)北九州市芸術文化振興財団 埋蔵文化財調査室 TEL.093-582-0941 FAX.093-582-8970 (電話の受付時間9:00~17:00 但し土・日・祝日は除く)

北九州市立埋蔵文化財センター2階 展示室
北九州市小倉北区金田1-1-3 入場無料(要申込)

8月 10(土)
14:00 (13:30開場)



8/1(木)申込締切

※代表の方はお名前と電話番号、参加人数をお知らせ下さい。
※お席に限りがありますので、立ち見になる可能性もございます。
※駐車場はありません。公共交通機関にてお越し下さい。

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

「CulCul」を電子ブックでも閲覧することができます

パソコン版 (公財)北九州市芸術文化振興財団のホームページからご覧になれます ▶ 北九州文化 検索 URL:http://www.kicpac.org/ ※TOPページ左メニューの出版事業からCulCulを閲覧できます

スマートフォンのタブレット版 無料の電子ブック閲覧アプリ「ActiBook」でご覧になれます
①「App Store」または「Playストア」からアプリをインストール
②「ActiBook」アプリを立ち上げて「検索」メニューから「culcul」で検索 ActiBook



「かるかる」をPDFでも閲覧することができます

ホームページからご覧になれます ▶ かるかる 検索 URL:http://www.kicpac.org/culcul/index.html

↑ 二次元コードからでもご覧になれます。

北九州市芸術文化情報誌「CulCul」・「かるかる」

■発行日/2013.7.1 ■発行/北九州市、(公財)北九州市芸術文化振興財団 出版事業課 〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1-1-7F TEL:093-662-3012 FAX:093-662-3016

情報コーナー

北九州市

「第24回北九州市自分史文学賞」作品募集

〔募集内容〕体験を中心に自らの人生や、自分自身に大きな影響や感銘を与えた人物（肉親、友人など）の生き方を描いたもの。後者の場合、あくまで自身との関連の中で描き、その人物によって自分がどのように影響を受けたかを具体的に書く。ノンフィクション、自作、未発表作品。400字詰め原稿用紙200〜250枚以内。募集要項は各区役所、生涯学習センター、図書館等に設置のほか、市ホームページからも閲覧可能。取り

寄せの場合は左記連絡先まで。

〔募集期間〕7月1日(月)から

9月30日(月)消印有効。〔審査委員〕柴田翔、佐木隆三、久田

恵。(賞)大賞1編・賞金20

0万円及び単行本として出版、

佳作2編・各50万円、北九州市特別賞1編・30万円。

市民文化スポーツ局文化振興課内「自分史文学賞」係

093(582)2389

FAX093(581)5755



北九州国際音楽祭市民企画委員会

「第4回湧き上がる音楽祭」

【コンチエルト演奏会】8月11

日(日)ジュニアの部、午後2時開演。杉尾あかりさん、手嶋真

吾さん、山賀聖太さん。一般の部、同5時開演。三重野彩香さ

ん、高橋俊佐さん、田中香織さん。北九州市立響ホール(八幡

東区平野)。全席自由。入場料、各1500円。【室内楽演奏会】

8月16日(金)午後7時開演。同17日(土)午後2時開演と、同7

時開演。同18日(日)午後2時開演。戸畑市民会館中ホール(戸畑

区汐井町)。全席自由。入場料、各1000円。【独創企画演奏会】

8月23日(金)午後7時開演。



今年の、北九州市芸術文化振興財団主催のコンサートは、大変アピール度が高く「たくさんの方々演奏会に足を運んでいただきたい」という思いがひしひしと伝わってきます。5月には「葉加瀬太郎クラシックシアターⅢ」が完売！そして7月14日には『石田純一&熊本マリ「作曲家のラブレター」』と

いうコンサートが響ホールであります。石田純一さんは、あの俳優の石田さんですよ！

クラシック音楽家という「聖人君子」のようなイメージ

を持たれる方いらっしゃるかもしれません。とんでもない。

「作曲家のラブレター」色恋沙汰の絶えない情熱家(?)

がとっても多いのです。芸術家なので、当然ですかね。

前述のコンサートは、そんな作曲家達が生前書いたラブレターを朗読しながら、曲を聴いていただこうという試み(だと

思う)。曲を作るのも命がけ。人を愛するのだから命がけ。東京の公演では、ブラームスの手紙を読みながら、石田さんの涙が止まらなくなったらしい。いったい、どんな感動的な手紙だったのでしょうか。

音符で人々を感動させる作曲家が、その気持ちを文字にした時、どんな世界が広がるのでしょうか。

楽しみじゃ。

同25日(日)午後3時開演。北九州芸術劇場小劇場(小倉北区

室町)リバーウォーク北九州6F)。全席自由。入場料、一般各

2500円、高校生以下2000円(23日)、中学生以下1500

0円(25日)。※各日各公演とも開場時間は、開演時間の30分前。

湧き上がる音楽祭(蒲ヶ原)080(2732)2532

■北九州&アジア全国洋舞コンクール実行委員会

「第12回北九州&アジア全国洋舞コンクール」

決選日程は以下。8月22日(木)23日(金)バレエ部門、24日

(土)バレエ部門・モダンダンス部門、25日(日)ヴァリアス(民

族舞踊、児童舞踊、フラメンコ、ジャズダンス、民謡等)部門・

バリアフリー(障害者)部門・オールド(満60歳以上)部門。

25日は午後1時30分より各部門受賞者の表彰式と記念公演。※

開始時間に変更する場合があります。アルモニーク北九州

ソレイユホール(小倉北区大手町)。全席自由。入場料、22日

〜24日は各日2000円、25日は2500円(当日各500円

増)、4日間フリー前売券5500円(当日販売なし)。前売発売

は7月10日から8月20日まで。事務局

093(571)6718

(黒田バレエスクール内)

CulCul(かるかる)郵送のご案内

CulCulは、市内の主要施設

に置いていますが、あらかじめ郵便切手をお送りいただければ、ご自宅に郵送いたします。

郵送先の郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、ご希望回数分の切手を添えてお送りください。

A. 三つ折り定型郵便物での郵送 一回90円

B. 定型外郵便物での郵送(折りなし) 一回140円

8月号から平成26年3月号までの8回を上限といたします。

必ず、AかBいずれかと回数を明記して下さい。

切手到着後の郵送となります。

〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1の1

レインボープラザ7F CulCul郵送係まで

CulCulの主な設置場所

市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、市内体育施設、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーションなど

埋蔵文化財 hiroba

遺跡からのメッセージ

(公財)北九州市芸術文化振興財団
埋蔵文化財調査室 学芸員

山口裕子 Yuko Yamaguchi



ルーズソックスは女子高生の定番アイテム。



城野遺跡第3地点から出土した大量の弥生土器

ルーズソックスと弥生土器

ルーズソックス。女子高生といえは、コレ。

最近では以前ほど見なくなりましたが、私が学生の頃はまだ流行りだしたばかり。「ふわふわした感じがかわいい」「足首を隠すことで、太ももがやせて見える」なんて…ま、理由はどうあれ、爆発的な普及をみました。当時、大人だった方にはよれた靴下で、みっともないと思われていたのかもしれないが…。

話は変わりますが、平成23年度に小倉南区にある城野遺跡第3地点で発掘調査を行いました。ここでは、弥生時代の土器が大量に出土しています。甕、甗、鉢、高坏（盛りつけ用、中央に脚が着くうつわ）、器台（上下が開く筒状、壺などを上に置く）などさまざまな種類の土器が確認されました。

出土した土器は全て持ち帰り、洗って接合を行います。その後、特徴を調べるため図面に起こしていくのです。こうやって、整理された土器を見ていくことに気づきます。また、それは時期や地域によって違ってい

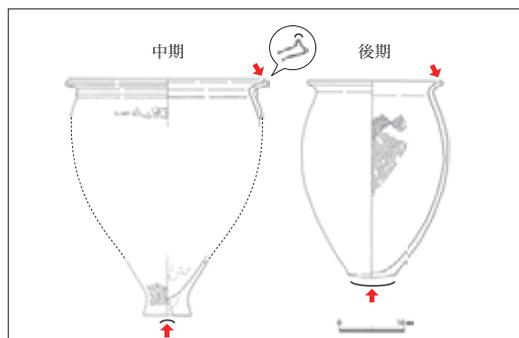
るのです。

この様な土器の特徴を地域や時期によって系列的に並べたものを考古学の世界では「編年」と呼びます。ちなみに「編年」は土器だけでなく、石器や鉄器にも用いられます。これと照らし合わせることで出土した遺物がいつの時期のものなのかを確認していくのです。

弥生時代は大きく、前期・中期・後期の3つの時期に分けられています。城野遺跡第3地点で見つかった土器は主に中期から後期にかけての土器です。

中期の土器の特徴のひとつに、甕の「跳ね上げ口縁」というものがあります。これは甕の口の部分の先端を上の方に突出させるもので、地域によって多少の差はありますが、全国的に見られる傾向です。また、底は厚く、外底面が窪んで、上げ底状になっています。後期になると跳ね上げ口縁は見られなくなり、底部の幅が広がります。そして、だんだんと丸みを帯びていくのです。

時代は大きく流れて。女子高生といえは、ミニスカートのルーズソックス。けれども、



城野遺跡第3地点から出土した弥生時代中期と後期の土器

少し時代をさかのばれば、聖子ちゃんカットにロングスカートがその定番だった頃も…。現代の流行の多くは若者から発信され、年々、移り変わっています。弥生時代は今より時間の流れがゆっくりで、時代の変化も今の様に目まぐるしいものではなかったでしょう。また、土器は生活に密着した道具です。その形の変化というものが多く、利便性や効率によるものが多く、ファッションの流行と単純に同じものと考えることはできません。しかし、それは今と同じく、当時生活の担い手として中心的に働いていた若者達の手によって生みだされていたのかもしれない。

【このコーナーの次回掲載予定は9月号です】

漫画 hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム 専門研究員

表 智之 Tomoyuki Omote

来る7月6日(土)・7日(日)、北九州市漫画ミュージアムで開かれる「日本マンガ学会」では、「マンガとアジア」と題したシンポジウムが二日目に開催されます。アジアがテーマとなったのは、アジアの玄関口である北九州にちなんでですが、漫画とアジアには元々深い関わりがあります。東・東南アジアの国々、例えば韓国や台湾やタイなどでは、日本の漫画が1960年代ごろから翻訳出版され、深く浸透してきました。それらの国では、日本の漫画を読んで育った漫画家が大いに活躍しており、

日本マンガ学会大会シンポジウム 「マンガとアジア」が開催されます。

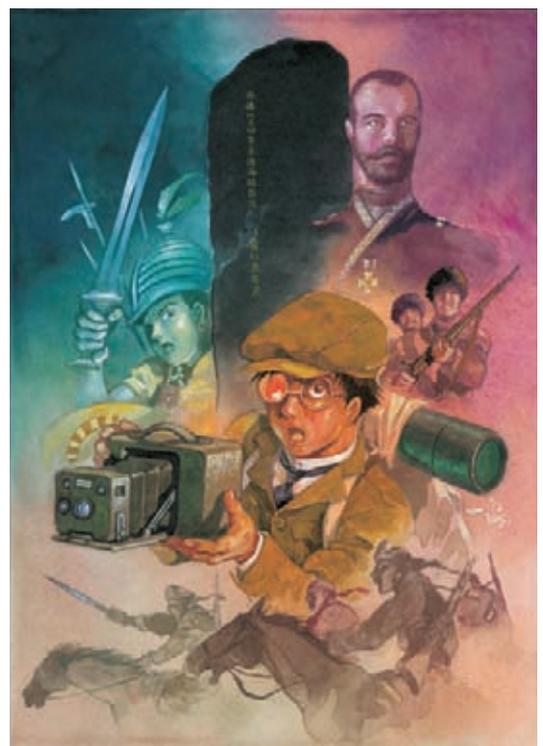
日本の漫画家と肩を並べて日本や欧米で人気を博している例も少なくありません。

シンポジウムの第一部では、日本漫画のアジアへの浸透の最新状況を、フィリピンの例を元に検討します。日本の漫画から吸収したエッセンスが、現地の伝統的な漫画と混ぜ合わさり、フィリピンの場合はさらに北米の漫画の影響も加わって、独特の表現が生まれているのです。また、キリスト教徒の割合が高く、日本とは倫理観が異なりますから、日本の漫画を日本人とは違った目

で、例えばある種の禁忌意識を持って受容している側面もあります。そういった興味深い特徴を、現地の漫画家や、漫画イベントの主催者などをゲストに迎え、明らかにしていきます。

アジアと漫画の深い関わりをもう一つ挙げましょう。日本の漫画がアジアを、特に中国大陸を好んで描いてきたことです。『三国志』等の古代史や、『西遊記』等のファンタジーも多く取り入れられていますが、中でも興味深いのは、近代日本のアジアへの膨張の過程を盛り込んだ漫画です。戦争の悲劇についてしっかりと捉えなおしたい、そんな思いが作者にも読者にもあるのでしょうか。

シンポジウムの第二部では、安彦良和氏と村上もとか氏、二人の人気漫画家をゲストに迎えます。安彦氏は、「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」で知られますが、日本とモンゴルの血を引く青年が「満州国」で歴史の荒波にさらされる「虹色のトロツキー」など歴史漫画家としても評価が高く、現在は日露戦争を題材とする「天の血脈」(講談社「アフタヌーン」連載)に取り組んでいます。村上氏は、TVドラマ化された「仁」(TBS)が記憶に新しい所ですが、同じく「満州国」をめぐる歴史冒険譚「龍-RON-」のほか、女



安彦良和「天の血脈」

©安彦良和/講談社 アフタヌーン KC 刊

Information

日本マンガ学会 第13回大会

【開催日】

2013年7月6日(土)・7日(日)

【会場】

漫画ミュージアム企画展示室など

【内容】

1日目は会員による研究発表など。2日目はシンポジウム「マンガとアジア」など。

【お問合せ】

北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077



昨年度大会開催風景(東京・明治大学)

性漫画家・上田としこ(故人)の評伝作品「フィチン再見!」(『ビッグコミックオリジナル』連載)で注目されています。上田は「満州国」のハルピンで育ち、ハルピンの中国人少女の物語「フィチンさん」を戦後に発表、大人気を博しました。

両氏ともに、史実を忠実に追うよりも、大胆な発想の転換や旺盛な想像力で歴史の本質に迫ろうというスタイルです。日中・日韓関係がかつてない危機にある今、「マンガとアジア」という一風変わった切り口から、アジアについてあらためて考えたい。そんな機会になれば幸いです。

北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー



美術 hiroba

KITAKYUSHU MUNICIPAL MUSEUM OF ART
KUROSAKI COMMUNITY GALLERY

北九州アートめぐり

キュレーター
花田伸一 Shinichi Hanada

2013年4月、八幡西区J R黒崎駅前のコムシティ3階に「黒崎市民ギャラリー」が新しく開設されました。市内には、北九州市立美術館本館（戸畑区）、八幡市民会館（八幡東区）、旧百三十銀行ギャラリー（八幡東区）、リバーウォーク北九州（小倉北区）など、市民が展示をするための貸ギャラリーがいくつもありますが、今回新たに開設された黒崎市民ギャラリーはどのような空間なのか拝見してきました。

第一印象は非常にスッキリとしたスマートな空間で、壁面の白と天井の黒とのコントラストが際立っています。床の素材はフローリングで、カーペットやPタイル素材の床に比べ、シャープな印象を与えます。

貸会場の展示パネルといえ、華奢な造りで見た目に頼りない印象のものが多く、本ギャラリーのパネルはほぼ構造壁と変わらない安定感ある印象を持ちました。

天井高は約3メートルでそれほど高くはありません。天井高はどのくらいが良いかは作品をどのように見せたいかによって異なりますが、天井が低い場合、空間が凝縮されて作品と観客との親密度をより出しやすくなり、スポットライトの取り外しも楽になります。

本ギャラリーのスポットライトはLEDライトで白色です。従来のギャラリーによくある黄色味があったライトによる照明環境に慣れた目には、この白さは新鮮かもしれません。照明の違いによって作品がシャープに見えるたり、マイルドに見えるたりと、作品の印象が大きく異なりますが、これは好みが分かれるところでしょう。

壁面に平面作品を掛ける方法としては、壁の上端にあるピクチャーレールからチェーンおよびワイヤーで作品を吊ることもできますが、壁にマス目状に空けられた穴に金具を取り付けることで作品を簡単に掛けられます。市立美術館の市民ギャラリーと同じ方式です。この方式の場合、マス目状の穴が視覚的にやや煩わしい欠点はあるものの、チェーンやワイヤーで吊ったり、金具を壁打ちしたりするよりも作業が楽で、作品を水平に保ちやすく、アマチュアの人にも作業しやすい方式といえるでしょう。

展示スペースの広さは全体で414平米あり、市立美術館の市民ギャラリーよりもやや小さいくらい広さです。その全体を個展で埋めるにはそれなりの力量が必要かもしれませんが、3区画に分かれたスペースの内、1区画または2区画だけ借

りすることもできます。このギャラリーを舞台として意欲的な表現者による展示が展開されることを期待しています。

ちなみに市民ギャラリーや民間の画廊も含め、表現者自らがスペースを借りて発表をするための貸ギャラリーという仕組みは日本独特のもので海外ではあまり見られません。さらに貸ギャラリーをよく利用する主体である団体展・公募展という仕組みも日本独特のもので、このような日本独特の美術状況の歴史的背景やその意義については、いずれまた稿を改めたいと思います。



Information

北九州市立美術館
黒崎市民ギャラリー

八幡西区黒崎3の15の3
コムシティ3F
093(644)5206



松本清張 1987年フランスにて



文芸 hiroba

清張アラカルト

北九州市立松本清張記念館 専門学芸員
柳原 暁子 Akiko Yanagihara

少年時代の愛読書

——松本清張記念館の展示品から

松本清張は、「読むこと」によって作家となった、と言えるでしょう。決して恵まれた環境ではなかった少年期の清張が、唯一の矜持としたのが、読書でした。

私の気持を支えてくれたのは、その頃の文学書であった。といって私には作家になろうとか、文士になりたいという気持はなかった。ただ、そういうものを読んでいることが単なる慰めだけでなく、何か一つの心の拠りどころといったものを感じさせた。

〔「美感的人生論」より〕

高等小学校を卒業して、すぐに働き始めた清張は、仕事の合間のわずかな時間を読書にあてました。その頃手にしていたのは、当時出たばかりの岩波文庫や改造文庫、春陽堂文庫が主でした。

清張が読書に親しんだ、大正から昭和初期というのは、出版界も躍進した時期です。一般市民がこぞって文化・教養を求める風潮に応える形で、文学全集や文庫が刊行されました。そういう愛読書の中から、

清張が「私の一冊」に挙げるのが、木村毅『小説研究十六講』です。

小説を本気で勉強したり、小説家になろうとは思っていません。だが、この本をよんだあと、急に小説を書いてみたい気になった。それほどこの本は私に強い感銘を与えた。どこに感動したかという点、これは大へん小説というものを科学的に分析して書かれてあるように思った。いま、よみ返しても、この感想はあまり変わらない。それに著者の記述が学者みだいに四角ばらず、その上、適当にペダンチックであった。

（略）

西洋の有名な小説のこの概や短文が引用してあるので、欧米文学にも通じたような気になった。

〔「一冊の本」より〕

この頃、所謂「〇〇講」もの、というのが盛んに出版され、流行したようです。こういう場合に、あまり銜^{くは}わず、当時のベストセラーを挙げられるのが、清張という作家です。しかし、小説ではなく「研究」なのです



木村毅著『小説研究十六講』(大正14年 新潮社刊)

『小説研究十六講』を愛読書と公言して憚^{はば}らなかった清張は、昭和55年の新装版刊行の際に、序の前文を書いています。

私は三十三歳のころまで乏しい蔵書を何度か古本屋に売ったことはあるが、この本だけは手放せず、敗色濃厚な戦局で兵隊にとられたときも、家の者にかたく保存を云いつけて、無事に還ったときの再会をたのしみにもしたものだ。今も手垢にまみれたその本が私の書架にある。

〔葉脈探求の人

——木村毅氏と私——〕より〕

当館では、清張が愛読したであろう全集や文庫本などと共に、作家が生涯大切にしていた、『小説研究十六講』を展示しています。

〔1〕ペダンチック＝学者ぶるさま
〔2〕こう概＝あらずし・あらし・大略など

Information

北九州市小倉北区城内2の3
093(582)2761

【観覧料】

一般 500円 (団体・年長者利用証:400円)
中・高生 300円 (団体:240円)
小学生 200円 (団体:160円)

【開館時間】

午前9時30分～午後6時(入館は午後5時30分まで)

【休館日】

年末(12月29日～12月31日)



野外劇団 楽市楽座 「はだかの王様」

撮影：谷瀬未紀



劇団 どんぐり 「君の名は」

撮影：高平雅由



演劇 hiroba

演劇の街は、いま

大塚恵美子演劇事務所 代表

おおつか えみこ Emiko Otsuka

突如として現れる野外演劇空間を

影で支える『受け入れさん』に感謝

この春、二ヶ月連続で、小倉城大手門広場に小さな、そしてユニークな演劇空間が出現した。

まずは「野外劇団 楽市楽座」が新作『はだかの王様』（作・演出：長山現／4月26日～29日）をひっさげて登場。

この「楽市楽座」は、家族3人で日本全国を旅して公演を行っている。彼らの舞台には、柱も屋根もない。八角形の、水をはったプール状の舞台の中にもう一つ円形舞台が浮かべられており、それが水の流れとともににくるくると回るといふ趣向だ。入場料は、投げ銭制。入場時に貰える投げ銭用の折り紙に好きな金額を包んでおき、投げたいと思った時にいつでもそれを舞台に投げ入れて良いのである。説明的な舞台装置を一切使わずに、ファンタジックな登場人物と、きらびやかな衣装、ギターやヴァイオリンの生演奏などで、見慣れた風景を一気に違う世界に変えてしまう手腕。流石様々な場所で数多くの公演を行ってきただけの事はある、と感心させられる。

「楽市楽座」の公演の一カ月

後、「劇団 どんぐり」が『君の名は』（構成・演出：どいの／5月19日・20日）を上演した。こちらは、犬小屋テント劇場と呼ばれるテントを建てての公演。テントと言っても、完全に閉じてはいない。芝居中に外側の覆いが開かれ、舞台上から外に向かって劇空間が勢いよく流れだす瞬間もある。

具体的なストーリーを排し、ある共通のイメージに沿った、時にサイケデリックかつコミカルな、時にも悲しい夢のような短いシーンが、息つく間もなく展開されていく。勢いにまかせて遊んでいると見せかけて、その中に落ち着いた、緻密な計算も垣間見える、非常に知的な作風だと思ふ。

こういった劇団を陰で支えているのが、『受け入れさん』と呼ばれる存在だといふのをご存じだろうか。旅公演で一番悩ましいのは集客である。メディアで有名な俳優が出演するなどしていなければ、作品の告知だけでは満足な集客は望めない。また、旅公演の場合、同行するスタッフの数がどうしても限られてくる。『受け入れさん』とは、

そういった集客、公演時の舞台設置および撤収、宿泊その他、劇団がその地で公演を成功させるために協力する現地の人の事である。劇団にとっては非常に重要な存在だ。

「楽市楽座」は北九州で演劇、ダンス、音楽など幅広いジャンルでの制作を手掛けている谷瀬未紀氏の「ピカラック」が『受け入れさん』として動いている。また、「どんぐり」は、「ピカラック」を中心に、地元の若手劇団「ブルーエゴナク」や、演劇や音楽のイベントに協力的なカフェや飲食店などで結成された「北九州どんぐり遊園」という組織が『受け入れさん』だ。

現在、日本全国でテント、あるいは野外芝居で旅公演を行っている劇団の数は段々減ってきている。かつては北九州にも多くのテント劇団が定期的に訪れ、『受け入れさん』の活動も活発だったという。同じ劇団の『受け入れさん』同士が地域を超えて交流したりもしていたと聞く。

日常生活の中に数日間突如として現れ、そして消える劇空間はひそやかな祝祭のようだ。『受け入れさん』とは、その祭りを支える氏子のようなものか。彼らのお蔭で上質な作品を見る事ができる。ささやかながら感謝の意を表したい。

©Marco Borggreve



バーミンガム市交響楽団

開催期間 10月6日(日)～11月23日(土・祝)
会場 北九州市立響ホール、アルモニー
サンク北九州ソレイユホール、
戸畑市民会館ほか
チケット発売 7月1日(月)午前10時から

2013北九州国際音楽祭は10月6日から11月23日まで、「未来へのきらめき」躍進する新世代たち」をテーマに、北九州市立響ホールなどで行われます。

市制50周年を祝う特別企画や、きらめくトップ・アーティストたちのステージが、今年も北九州の秋を華やかに彩ります。そのうち、いくつかピックアップしてご紹介します。

**オープニング プレミアム
ガラ・コンサート**
(10月6日(日)午後3時開演／北九州市立響ホール)

北九州市民文化賞や奨励賞を受賞している篠崎史紀、川口エリサ、双紙正哉、南紫音「ヴァイオリン」、豊嶋起久子「ソプラノ」、手嶋眞佐子「メゾソプラノ」の6人をソリストなどに迎える豪華な特別企画。彼らと共に演奏、ステージを盛り上げる「北九州祝祭弦楽合奏団」は、国内主要オーケストラでコンサートマスターや首席奏者などを務めるメンバーと、このために実施したオーディションで選ばれた若手演奏家たち、合計31名からなる特別な合奏団です。

ヴィヴァルディの「四季」、チャイコフスキーの「弦楽セレナード」などお馴染みの名曲や、バッハやモーツァルトの美しいアリアの数々。時間が経つのも忘れてしまいそうな、文字どおり贅沢なコンサートです。

アンドリス・ネルソンス指揮
バーミンガム市交響楽団
エレヌ・グリモー「ピアノ」
(11月23日(土・祝)午後4時開演／北九州ソレイユホール)
アンドリス・ネルソンスは、ウィーン・フィル、ベルリン・フィルをはじめ世界の著名オーケストラと共演、絶賛を博し、

先日、ボストン交響楽団の音楽監督に史上最年少で就任することが発表されるなど、今、世界で最も注目を浴びている若手指揮者です。彼が2008年から音楽監督を務めるイギリスの名門、「バーミンガム市交響楽団」を率いて今回演奏するのは、「ドヴォルジャークの『新世界より』」。ダイナミックかつ繊細、躍動感溢れるネルソンスのタクトから目が離せません。

ソリストは世界の舞台で活躍するカリスマ的ピアニスト、エレヌ・グリモー。ネルソンスとのコンビによるブラームスの「ピアノ協奏曲第一番」は必聴です。

ここでご紹介した2公演のほかにも、宮田大「チェロ」、成田達輝「ヴァイオリン」、萩原麻未「ピアノ」ら注目の若手が続々と登場。また、レクチャーコンサートやトークショーなどもあり、皆さんに楽しんでいただける幅広いラインナップとなっています。どうぞご期待ください。

チケット発売はいよいよ7月1日(月)午前10時から。電話のほか、ホームページからも指定席の座席を選んで購入できます。

お申込み、お問合せは、北九州国際音楽祭実行委員会事務局(下記)へどうぞ。

Information

【チケット料金】

オープニング プレミアム ガラ・コンサート
S席 6000円 A席 4000円 U-25(A席) 2000円
バーミンガム市交響楽団
S席 9000円 A席 7000円 B席 5000円 U-25(B席) 2000円
*全席指定 *当日各500円増 *U-25...学生問わず25歳以下、要証明

【お問合せ】

北九州国際音楽祭実行委員会事務局
093(663)6567 (午前9時～午後5時/土日祝休)
<http://www.kimfes.com> (HPからチケット購入できます)



エレヌ・グリモー



アンドリス・ネルソンス

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

2013
July

7

Vol.3

特集 | 2013北九州国際音楽祭

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | 清張アラカルト

美術 | 北九州アートめぐり

漫画 | 漫画と北九州

埋蔵文化財 | 遺跡からのメッセージ

音楽 | いろはにびあの

素敵な音楽につつまれて。